

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	TANK BLITZ		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.480	△RG	0.034	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

テストボール：TANK BLITZ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

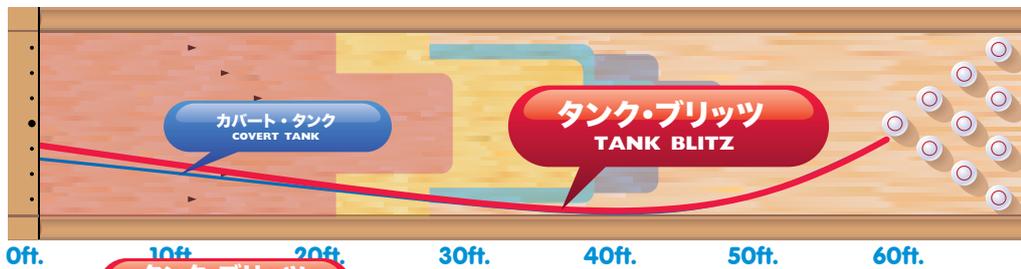
比較対照ボール：COVERT TANK

フレアーの幅 インチ

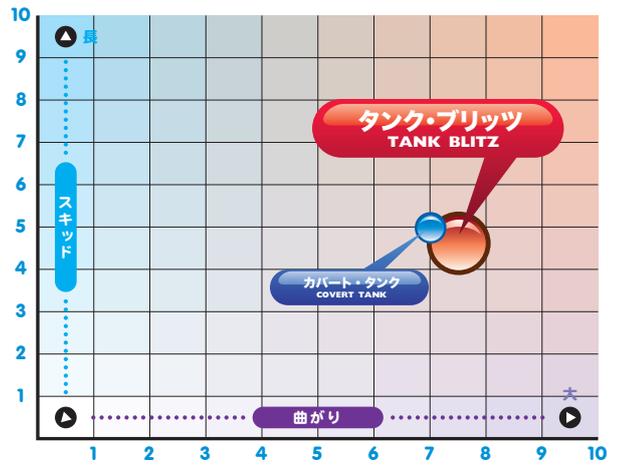
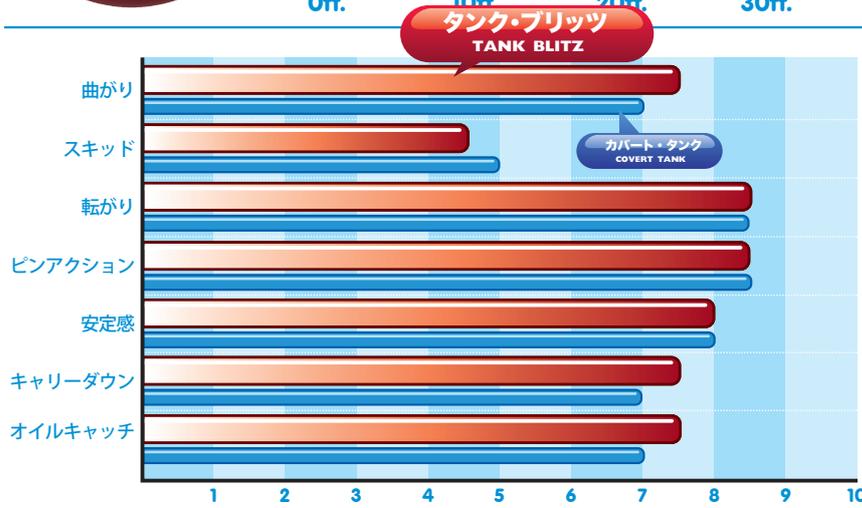
PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

前作Covert TANKはウレタンでもなくリアクティブでもないMicrocell Polymerという素材を打ち出し、従来のリアクティブ素材の過敏な反応を打消し、ウレタンの基本属性を保ちながらキャッチを強めることのできるボールとして注目を集めました。今回のTANK BlitzはMicrocell Polymerテクノロジーを進化させ、吸油率を高めて、より高濃度のオイルを処理できる新しいFrixion Microcell Polymerとして産声を上げました。

TANK Blitzは新しいFrixion Microcell Polymerを意図してもらうために低RGのコアを選択し、Covert TANKより曲がりの継続性を高めているのが特徴で、Venom ShockのGear Coreは初代のTrox Coreよりも曲がりやすく、滑らかに動きます。前作Covert TANKでも感じたことですが、Microcell Polymer素材が出来たことでコンディションを攻める選択肢が明らかに増えたことは間違いありません。特にスポーティーなコンディションに至っては過激な反応を嫌う反面、手前のオイル量に必要な最低限のキャッチ力が求められます。ウレタンで役不足を補うため滑らかに動く特性のボールでも、リアクティブの基本特性は消すことができません。まさにその間にMicrocell Polymerがジャストに入ります。スポーティーなコンディション以外でもフランチャイズの十二分にTANK Blitzを投げて頂くこともできます。MOTIV社最大のサンディング仕上げの2000Grit LSS仕上げですので手前のオイルの薄い部分では曲がりやすくする傾向は顕著にありますが、オイルに対しての強さと共にコンディションの濃い薄いに左右されず、軌道面は変わらないのがMicrocell Polymerの最大の利点なので、しっかりと曲がりを感じることもできるし、曲がりやが常に安定して感じて頂けるのは間違いありません。曲がる軌道はウレタンなのにウレタンよりはるかにオイルに強い。本当に不思議感覚で投げられるボールだと思います。

特記事項

Covert TANKよりも曲がりやが早く始まり、滑らかに曲がり続けるイメージに仕上げられています。普段からウレタン素材を使うコンディションに相対する方は、Microcell Polymer素材のボールは必需品です。